

令和6年度第一回中央区環境行動計画推進委員会【議事概要】

日 時 令和6年8月20日(火) 14:00～15:30

場 所 区立環境情報センター研修室

議題

(資料確認)

- 資料1 中央区環境行動計画2023の評価案について
- 資料2 中央区環境行動計画2023の令和5年度進捗評価について
- 資料3 中央区環境行動計画2023小学生版に係る活用調査結果について
- 資料4 中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画(第6次)の策定について

(当日配付資料)

- 1 令和6年度第一回中央区環境行動計画推進委員会 次第
- 2 中央区環境行動計画推進委員会委員名簿
- 3 中央区環境行動計画推進委員会座席表
- 4 令和5年度第二回中央区環境行動計画推進委員会【議事概要】

議事

- (1) 中央区環境行動計画2023の評価案について 及び
- (2) 中央区環境行動計画2023の令和5年度進捗評価について

●区

(資料説明)

●委員

説明に対しご質問、ご意見はないか。

●委員

資料2の基本目標1 No.1～3 及び基本目標3 No.1と3の文章に、新型コロナウイルス感染症拡大による影響について記載があるが、これらは裏付けとして数値データを整理しているのか。基本目標1と基本目標3の間で、新型コロナウイルス感染症による影響の捉え方に矛盾がある。

●区

基本目標 1 No.1～3 は「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の報告値を用いているため、令和 5 年度の実績値は 2 年前の令和 3 年度の排出量となっている。文章についても、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の資料を基に令和 3 年度の状況を記載している。基本目標 3 No.1 と 3 の文章では、令和 4 年度の状況について記載している。

●委員

指標によって、数値の年度が異なるため新型コロナウイルス感染症による社会状況の捉え方に矛盾が生じているのか。

●区

その通りである。

●委員

文章に、「前年度」ではなく、具体的に比較している年度を明記する必要がある。また、感覚的なものではなく、事実に基づく記載が望ましい。

●委員

実績値の年度が異なるため新型コロナウイルス感染症による影響の記載が異なることを理解した。基本目標 1 No. 1 ～ 3 について、2 年遅れで数値が公表されるということだが、2030 年度においては 2028 年度の数値を用いて評価を行うのか、評価方法を考えておく必要がある。

●区

区内の排出量は、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の数値を使用するため、2 年遅れでしか把握することができない。最終年度での実績値の取り扱いについては、今後検討する。

●委員

基準値を令和 3 年度の実績値としているが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けている。平成 25 年度の実績値を基準値としている指標もあるが、その他の指標については、令和 3 年度を基準年度とするしかないのか。

●区

本計画策定時において把握できた最新のデータが令和 3 年度であるため、令和 3 年

度の実績値を基準値としている。平成25年度の実績値を基準値としている指標は、温室効果ガス排出量に関する指標であり、国の「地球温暖化対策計画」に準じている。

●委員

基本目標 1 No.5と 6 に ZEB 及び ZEH の記載があるが、エネルギー消費を正味ゼロにする ZEB ではなく、ZEB 基準の水準という意味であると思う。誤解がない表記とした方がよい。

●区

区の計画では ZEB Ready または Oriented 水準相当を掲げている。注釈に補足説明を追記する。

●委員

基本目標 5 No. 3 の文章で、東京都の調査結果を把握し公表するとしているが、中央区内の調査結果を把握することができるか。

●区

東京都が実施する調査のうち、中央区内の調査地点の結果を把握し、公表する。

●委員

資料 1 の p. 5 の 1) オ.で、本計画終了時に総合評価を行う旨の記載があるが、中間評価を行う予定はあるか。

また、資料 2 の基本目標 3 の文章において、3R などの考え方がある中で、リサイクルのみに言及されていることに違和感がある。

さらに、基本目標 6 No.3、4 の文章で、中央エコアクトの再構築を行ったという説明があるが、進捗状況の評価結果が分かりにくい。

●区

環境行動計画で、令和 9 年度に中間評価を実施することとしている。

中央エコアクトについては、これまでは一月の取組のみを報告頂いていたが、継続的に取組を実施できるように事業の再構築を行った。令和 5 年度が、事業再構築後の初年度となっている。令和 5 年度の進捗率がマイナス値となっているが、平成21年度から令和 4 年度までの累積の家庭用の登録件数が818世帯であるのに対して、令和 5 年度は単年度で417世帯の登録があった。また、直近の 8 月15日時点で700件以上の登録を受けている。進捗は順調であり引き続き本事業に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

●区

基本目標3について、中央清掃事務所が所管しており、ごみの観点から文章を記載しているため、リサイクルという言葉を用いている。区としては、3Rについても掲げているため、表現方法を今後検討する。

●委員

基本目標3について、No.5は回収量(kg)が位置づけられているが、No.4は団体数である。No.4についても、回収量で表すことはできないのか。

●委員

資源の集団回収は、自治会により回収するもので、資源の拠点回収は区が学校等から回収しているものである。ごみの拠点回収量及び集団回収量は区のホームページで毎年度公表している。本委員会においては、個別指標の進捗評価を報告する場であるため、資料2で回収量の詳細な数値を掲載する必要はないと考えている。

●委員

集団回収で集めている資源と、拠点回収で集めている資源は、全く違うものという理解でよいか。

●区

そうである。

●委員

集団回収による資源の回収量を知りたいという、篠原委員の意見である。本計画の進捗評価に記載する必要はないが、次回委員会の際に、参考資料として提示してほしい。また、集団回収はマンションにおける回収を含むか。

●区

集団回収の資源回収量に関する資料提示について、承知した。集団回収はマンションにおける回収も含む。

●委員

基本目標4 No.9 水生生物の調査について、5年に1度の実施は少ないのではないかと。また、調査の実施は5年に1度であるのに、文章には「定期的な調査を継続」という記載があり違和感がある。

●区

「定期的な調査」という表現は適さないため、修正する。

●委員

子どもや釣り人など、水生生物に関心を持って触れ合っている人は多い。より、生物に目を向けた方が良いのではないか。

●区

昨年度も、環境情報センターで子ども向けの生物に関するイベントを実施した。引き続き、イベント実施などを行っていきたい。

●委員

資料1 p.6 上部の図について、基準値より数値が増加する目標は2項目しかないため、基準値より目標値が小さい値の図も示してはどうか。同様に、基本目標3 No.1の許容量についても、図示した方が分かりやすいのではないか。読み手を意識した記載を検討されたい。併せて、資料2の「維持」と「一」の使い分けが分からない。どのような場合に、「一」としているのか。定量評価も重要だが、あくまでも進捗評価であるため、実施している取組については積極的に記載した方が良い。⑩進捗率が「一」であると、何もしていないという印象を受けてしまう。また、中央エコアクトについて、表ではマイナス評価となっているが、文章を見ると登録者数の増加は好調である。資料2の全体を通して、表と文章の対応が分かりにくいいため、見直しが必要である。

●区

基本目標1 No.4と5や基本目標4 No.9のように、前年度の値がなく比較できない指標において、⑩進捗率を「一」とし、今後の取組や調査実施時期について補足説明を記載している。

●委員

「一」ではなく、「次年度に向けて準備中」「取組中」などと記載しても良いのではないか。「維持」についても、取組の実施により維持しているのか、基本目標5 No.3～5のように既に達成しており維持なのか、調査等を行っておらず数値に変化がないため維持なのか、指標によって「維持」の意味が異なるため区別する必要がある。

●委員

基本目標4 No.4で、航空測量が未実施であるため増減がないとしているが、身近な浜町公園で緑が減っていると感じている。航空測量を実施していないから変化がないとするのは、乱暴ではないか。航空写真や図面からみどり率の算出はできないのか。

●区

基本目標 4 No. 4 は、みどりの基本計画のデータを引用している。みどりの基本計画のデータ更新が、航空測量の実施に併せて10年に一度である。区内のみどりの量が日々変化しているのは確かであるが、みどり率の算出方法は定められており、データの更新のためには、航空測量を実施する必要がある。そのため、毎年度データを更新することは現実的に難しい。

●委員

みどり率は、緑被率に水面や公園内の緑以外の面積を足し合わせたものである。また、緑被率は緑の投影面積から算出するもので、航空測量が基本となる。手作業で実態を把握することは困難である。緑被率は民間施設の屋上緑化なども含まれる。緑被率が下がる所がある一方で、民間施設では増えており、感覚としては全体的に増えている印象である。

●委員

基本目標 4 No. 4 と 5 の⑩進捗率は、「維持」ではなく、「評価対象外」とした方が良いのではないかと。

●委員

調査を行っていないなど、データがない指標については、文章に取組や課題を示す。

●委員

数値化できなくとも、取組や評価、課題について積極的に記載するという意識で、全体を見直して頂きたい。

●区

ご意見踏まえて、記載内容の見直しを行う。

(3) 中央区環境行動計画2023小学生版に係る活用結果について 及び

(4) 中央区温室効果ガス排出抑制実行計画(第6次)の策定について

●区

(資料説明)

●委員

資料 4 図表 3 で、令和 4 年度のデータを記載しているのはなぜか。

●区

令和５年度に計画の策定を行ったため、策定時の最新年度である令和４年度のデータを記載している。なお令和７年度までに28%削減という目標に対し、令和４年度に29%削減し、前倒しで達成した。

次回委員会：令和７年１月23日（木）14:00～、区立環境情報センター研修室

以上